



No.

試験研究第 11 - 81 号

平成 11 年 10 月 21 日

農業用液材 マリネックスの葉面散布試験

財団法人 日本肥糧検定協会

(本 部) 〒135 東京都江東区福住 1-12-15
電 話 03 (3641) 3453, 5121 (分室)

(関西支部) 〒650 兵庫県神戸市中央区新港町 14-1
電 話 078 (332) 6491

農業用液材 マリネックスの葉面散布試験

依頼者 株式会社 マリネックス

1. 試験機関の名称及び所在地

財団法人 日本肥糧検定協会

東京都江東区福住一丁目12番15号

2. 試験担当者の氏名

井 口 長 光

3. 試験の目的

農業用液材 マリネックスの葉面散布による作物への影響の有無又はその程度を知るため、こまつなを用いて葉面散布試験を実施する。

4. 試験の方法

1) 作物の育成

(1) 作物の種類

こ ま つ な

(2) 栽培の概要

規 模 ノイバウエルポット

は 種 9月22日

(3) 試験散布時の生育状態

草 丈 10.5 cm

葉 幅 2.3 cm

葉 数 2.5 葉

* 初回散布時

2) 散布試験の内容

(1) 供試資材

農業用液材 マリネックス

(2) 試験濃度と散布方法

葉・根菜類に対する標準施用（希釈）濃度は2,000倍から1,000倍となっているが、安全を確認するため、2,000倍を基準として1,000倍、500倍及び250倍の試験区を設けて実施した。

なお、試験液の散布は、500ml容小型噴霧機を用いて作物に満遍なく散布する。

注) 1回の散布量は、20ml

(3) 試験散布日

1回目 10月 5日

2回目 10月10日

5. 試験成績

葉面に展着した散布液の乾燥は、1回目は約20時間を要したが、2回目は快晴のため4時間程度であった。1回目及び2回目とも、散布後において全く異状症状の発現は認められず、生育も順調に推移し、各希釈液散布区とも薬害症状は見られず対照無散布（水のみ散布）区との間に有意な差は認められなかった。

次に、試験の観察記録と生育状態の写真を示す。

表・ 観 察 記 録

月/日	経時	記 録	気 象 条 件			
			気温 °C		湿 度 %	天 気
			最 高	最 低		
10/ 5	7:00	試験希釈液散布（1回目）	20.7	17.1	50	曇
	9:00	散布液の乾燥見られず。 異常を認めず。				
	12:00	散布液の乾燥見られず。 異常を認めず。				
	17:00	散布液半乾状態。 異常を認めず。				
10/ 6	8:00	散布液完全に乾く。 異常を認めず。	24.8	17.8	52	晴
	17:00	異常を認めず。				
10/ 7	7:00	"	26.5	19.6	62	曇
	18:00					
10/ 8	7:00	"	24.6	21.2	61	曇
	18:00					
10/ 9	7:00	"	22.2	18.0	49	晴
	18:00					
10/10	7:00	試験希釈液散布（2回目）	23.0	15.7	41	快晴
	10:00	散布液半乾状態。 異常を認めず。				
	11:00	散布液完全に乾く。 異常を認めず。				
	17:00	異常を認めず。				
10/11	7:00	"	26.0	15.8	50	快晴
	18:00					
10/12	7:00	"	28.9	19.5	46	快晴
	18:00					
10/13	7:00	"	27.8	21.1	58	快晴
10/14	8:00	試験期間中、異常症状の発現 は全く認められなかった。	29.2	21.0	59	曇

生育状態写真
(10月14日・最終調査時)



拡大写真



6. 要 約

株式会社 マリネックスの依頼により，農業用液材 マリネックスの葉面散布による作物への影響の有無又はその程度を知るため，こまつなを用いて葉面散布を実施し，次の結果を得た。

試験の結果：農業用液材 マリネックスの希釈液散布による作物への影響は，各希釈液区とも異常（葉害）症状は認められず，また散布後の生育も順調に推移した。

以上は，依頼により本協会が試験を行った結果であることを証明します。

平成 1 1 年 1 0 月 2 1 日

財団法人 日本肥糧



検 定 協 会
本 部 扱